

富士のみどり



富士ヶ嶺バイオセンター 発酵有機堆肥

施用割合(例)
(10a当り)
水稲 500kg
根菜 1000kg
(大根・人参・馬鈴薯等)
葉菜類 1000kg
(キャベツ・白菜・レタス等)

施用割合(例)
(10a当り)
果菜類 2000kg
(きゅうり・なす・ピーマン等)
果樹 1000kg
(ぶどう・桃・さくらんぼ等)

特長：富士のみどりは、均一に攪拌し高温発酵していますので、病原菌及び種子等は死滅処理され、安全・安心な肥料として使用できます。

Q: 肥料成分は高ければ良い?

A: いいえ、特に発酵有機堆肥の場合はバランスが重要!!

※化成肥料に偏った施肥は地力(土の持っている植物を育てる力)の低下を招く原因となります。

- 豊かな養分とミネラルバランスに優れているため、作物本来の香り、色、味が豊富で美味しい作物が作れます。
- 地力低下の土壤に施肥することで、有機物の発酵促進や微生物の活性化を図り、土の団粒構造と保水力が保持でき、作物作りに適した土壤に改善することができます。
※土が団粒構造になると、水はけが良くなる一方で、水分を貯える能力も高く、通気性に優れ、肥料成分の保持力の増大となります。
- 発酵有機堆肥「富士のみどり」を堆肥として使用することで、土壤改良材としての側面を持つことから、土づくりにも効果を発揮します。

安心の設備で、信頼の技術を駆使して、安全な発酵有機堆肥を実現



※富士ヶ嶺バイオセンター施設内の一部写真です

C/N比と微生物作用の関係

微生物の作用	低 C/N 比	微生物とC/N比	高 C/N 比
有機物の分解	速い	遅い	速い
無機態窒素*	吸収	取込み	吸収
窒素飢餓発生	無	有	有
堆肥の腐熟度	完熟	未熟	未熟

■主な成分の含有量等

- ・窒素全量(N) 1.7 %
- ・リン酸全量(P) 1.6 %
- ・加里全量(K) 1.8 %
- ・炭素窒素比(C/N) 14.5
- ・含水量 30.4 %



*作物は無機態窒素で大きくなります。有機堆肥は土壤に投入されると微生物のエサになり分解され、増殖と死滅をくり返しその死骸も別の微生物のエサとなり循環利用され、最終的にはアンモニアや硝酸などの無機態窒素となり、作物に吸収されることがわかっています。C/N比が低いと作物に吸収されやすく肥料効果は速く現れ、C/N比が高いと、微生物の養分として取込まれ、肥料効果は遅れます。

発酵有機堆肥
富士のみどり
15kg/40ℓ入



JAクレイン 経済部購買課

〒402-0054 山梨県都留市田原1-2-3

TEL 0554-20-8812

お問い合わせ

ご使用にあたってのお問合せは
お問合せ直通ダイヤル

TEL 0555-20-7611

【富士ヶ嶺バイオセンター】まで